

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



## 実習の成果を皆さんに

通称水高マグロが販売されました



▲たくさんの人が買いに訪れ、飛ぶように売れていきました

市魚センターで、11月21日、22日に「水高マグロ」が販売されました。この水高マグロは、県立水産高校の生徒たちが、延縄漁業実習で釣り上げたものです。今年は、例年の2倍以上の水揚げがあったことに加えて、マグロの味も良いとのことでした。また、水高マグロは生徒たちが丁寧に解体処理をしたため、一般の市場でも高い値段が付くそうです。

会場は販売開始前から行列ができるほどで「自分たちがとってきたマグロです」と水産高校の生徒の声が響く中、たくさんのお客さんがマグロを買い求めていました。

この日、販売にも携わった海洋科2年生の茨木翔さんは「船上での生活は、船酔いもしましたが、充実していました。最後には船に愛着を感じました」と55日間にわたる航海を振り返りながら語っていました。

## 障がい者スポーツをもっと知ろう

小学生が車椅子ラグビーに触れました



▲車いすラグビーの魅力語る堀貴志さん

津屋崎小学校で、12月9日に福祉教育がありました。講師として訪れたのは、車椅子ラグビーチーム「福岡ダンデライオン」の皆さんです。

小学生は、車椅子での生活とはどういうものか質問したり、競技で使う車椅子を体験したりしました。チームの中心選手である堀貴志さんは、「日常生活で困難なことが多くても、できることを増やしていく」と挑戦し続けることの大切さを小学生に伝えていました。

## 市内の絶景を「見て、歩いて」

フットパスが「絶景の道100選」に



▲小山市長に認定を報告した「海とまちなみの会」の皆さん

▲「絶景の道100選」認定証

「津屋崎里歩きフットパス」が県内で初となる「絶景の道100選」に認定されました。フットパスとは、昨年7月にまちおこしボランティア「海とまちなみの会」と市が共同で開設した、まち並みを楽しみながら歩く小径のことです。

11月24日には市長を訪れ、認定されたことを報告しました。会長の吉村勝利さんは、「さらに福津の魅力が知られるきっかけになれば」と話していました。

## ゴミ拾いはスポーツだ

スポーツゴミ拾い大会がありました



▲拾ったごみを計量する高瀬さん家族

11月28日、宮地浜から宮地嶽神社周辺にかけて、福津観光ウオーク「スポーツゴミ拾い大会」がありました。スポーツゴミ拾いは、ゴミ拾いとスポーツを融合させた競技で、拾ったゴミの量と質をチームで競うものです。参加者は、拾う場所を相談したり、ルートを考えたりしながら、範囲の隅々までゴミを拾い集めていました。両親と参加した高瀬夏蓮さんと怜恩さんは「隅っこからも見つけて拾いました」と町をきれいにした後のがすがすがしい笑顔で語ってくれました。ゴミ拾いの後にはチームごとに競技結果が発表されました。優秀な成績を収めた参加者には豪華賞品が贈られ、会場は最後まで盛り上がりを見せていました。

## 人権について考えよう

人権講演会がありました



▲ユーモアあふれる語り、会場からは笑いが絶えませんでした

人権講演会が12月5日に市中央公民館で開催されました。講師はタレントや実業家として活躍するダニエル・カールさん。「国や人種が違ってても」と題して、外国人との上手な付き合い方などを体験を交えて話してくれました。また、ダニエルさんは、国際化が進む社会に直面する日本人に「先入観を変えてみて」とアドバイスをしてくれました。

## 10年目の感謝

サンテラス祭りが開催されました



▲サンテラスの「なかまたち」がエピカニダノスを披露しました

福岡サンテラスを会場にして11月22日にサンテラス祭りが開催されました。市内外問わず多くの人が訪れ、ステージや出店などで盛り上がっていました。「サンテラスは今の場所に移動してから10年。地域の皆さまに支えられながら、徐々に支援の輪が広がっています」と理事長の小峯壽々子さんは笑顔で話していました。